

山五十川

山五十川字木の下地内から縄文後期の石鏃や土器が出土していることから、太古より人々の定住が認められる。集落の発祥は明らかではなく、奈良時代(西暦700年代)以前に遡ると考えられるが、本格的に集落を形成したのは大同年間(806)、今の河内・熊野両神社が創建された頃と見られ、平成18年(2006)開村1200年祭が執り行われる。

初期の集落は五十川に沿って実俣村・藤野村の二か村を成し、寛永元年(1624)には実俣村53戸・藤野村22戸と記録されている。

明治8年(1875)、実俣・藤野両村は合併して山五十川村と称した。戸数、100戸・人口673人

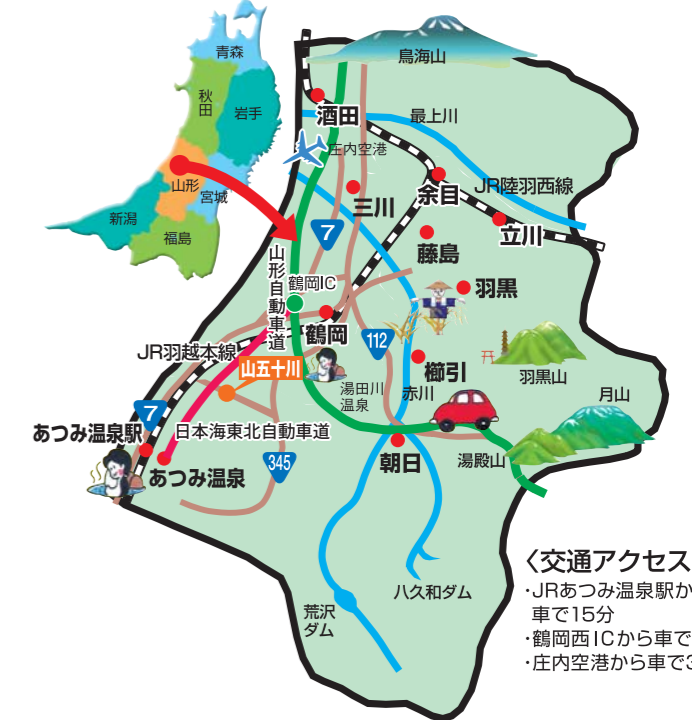
明治22年(1889)、市町村制実施により温海村大字山五十川となる。

明治25年(1892)、交通不便等を理由に大字戸沢と共に温海村より分村し、山戸村となる。

昭和29年(1954)、町村合併促進法を受けた4町村(山戸・温海・念珠関・福栄)の合併により温海町(大字山五十川)となる。

平成17年(2005)、6市町村(温海・鶴岡・藤島・羽黒・櫛引・朝日)の合併により鶴岡市山五十川となる。

山形県庄内MAP



〈交通アクセス〉
 ・JRあつみ温泉駅から車で15分
 ・鶴岡西ICから車で20分
 ・庄内空港から車で30分

【山五十川略図】



やまいらがわ
山五十川自治会
 山形県鶴岡市山五十川甲475-1
 TEL・FAX 0235-45-2949
<http://www.yamairagawa.com>
 E-mail yamairagawajk@sea.plala.or.jp

遥かなる時を越えて…
 優しく私達に語りかける。

やまいらがわ

